

平成 29 年度の実施プロジェクト（案）

1. H29 年度の実施プロジェクト（案）

平成 29 年 01 月 25 日

尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会 事務局

1.H29 年度の実施プロジェクト（案）

平成 29 年度に実施するプロジェクトの状況を整理した。

■水源地域を結び、拓く

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29 年度の予定	H29 年度の実施内容（案）	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅰ 人材の活用	(1)人材の活用	(1)-1 人材の発掘・活用	①水源地域の活性化に向けた技術や知識、知恵を持った人材の発掘 ②発掘した人材を有効活用するための人材バンク（データベース）の構築の検討 ③観光客への接客マナーの向上に努める観光の担い手の育成、活動団体間のつながりの強化 ④地元の大学や研究機関等との連携、水源地域における学修環境の充実 ⑤地域のニーズを踏まえた上で、学生が地域づくりに参加することで学ぶという学修の環境の整備	継続	・関係機関との連携強化による取組の実施（トリアスロン協会、ロゲイニング大会、okutabi 等）	NPO 法人さくらおろち（調整機関）	・関係機関との連携の強化 ・関係機関の拡大
				継続	・人材活用を図る推進組織を設立し、関係団体等の連携、ニーズや必要性を含め開催内容を検討	さくらおろちを活性化する会、NPO 法人さくらおろち	・事務局体制の整備 ・地域おこし協力隊の活用
				継続	・教育機関、大学等との連携策について今後も検討	さくらおろちを活性化する会、NPO 法人さくらおろち	・島根大学等との連携強化
				未定	・旅行・観光会社及び団体との連携	NPO 法人さくらおろち	
Ⅱ 組織の整備	(2)組織の整備	(2)-1 組織の整備	①リーダーを対象とした講習会への参加、開催 ②リーダー研修会の開催 ③先進事例を推進している地域への視察 ④活動を継続していくための体制の充実	継続	・水源地域活性化に向けた研修会などの機会を捉えた情報交換	さくらおろちを活性する会	・予算の確保 ・予算をつけ研修会への参加を促す
				継続	・先進事例の見学	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、株式会社キラキラ雲南	・先進地視察経費の確保
Ⅲ 企業との連携	(3)企業との連携	(3)-1 企業との連携（CSR 活動）	①地域内の企業が実施する CSR 活動（企業の社会的責任）と連携した活動の推進（企画・募集）	継続	・道路沿線の除草、施設内の草取り、参加企業数の拡大、施設内の草取りに向けてボランティアの募集	NPO 法人さくらおろち、雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会	・地域自治組織との連携
				継続	・道路沿線の除草、施設内の草取りなど、ボランティア実施に向けた作業プランの作成	NPO 法人さくらおろち、雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会	・地域自治組織との連携
				継続	・企業 CSR 活動の実施、企業 CSR 活動への参加者の拡大	NPO 法人さくらおろち、雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	・企業等 CSR 活動の拡大
Ⅳ 斐伊川流域圏の連携	(4)斐伊川流域圏の連携	(4)-1 下流域からの支援	①水源地域の環境を保全していくために、下流域からの支援を得られるような仕組みの検討 ②下流域の団体、企業への CSR 活動の参加呼びかけ	継続	・下流域の団体、企業による CSR 活動への参加	NPO 法人さくらおろち、雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町	・下流域の企業への CSR 活動の啓発促進
		(4)-2 流域圏の連携	①流域内で実施されている活動や団体との連携 ②志津見ダム水源地域で活動している団体と連携した情報発信や連携イベントの開催などの検討 ③広域的に連携した観光ルートの創造・PR	継続	・志津見ダムボビー祭り、コスモス祭りでの情報発信	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・松江天神祭りでの出店	NPO 法人さくらおろち	・夜が遅くなるので参加しにくい
				継続	・松江駅周辺での雲南ふるさとフェアにおける企業との連携	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・志津見ダム周辺の CSR 活動への参加（相互協力）	NPO 法人さくらおろち、雲南市・奥出雲町・飯南町	
				継続	・大橋川下流域地域との交流（朝酌地域）	NPO 法人さくらおろち、松江市	
				継続	・斐伊川流域の水辺の環境調査	NPO 法人さくらおろち、松江市	
				継続	・遠足の誘致（遠足ウィークの実施）	NPO 法人さくらおろち、雲南市	
Ⅴ 情報発信	(5)情報発信	(5)-1 情報発信の促進	①ホームページや各種イベント・地域マスメディア、各種情報誌での水源地域に関する情報の積極的な発信 ②設置した看板（お知らせ・案内）の有効活用によるイベント周知	継続	・「斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト」の運用、ダム湖周辺でのイベント行事を情報発信、「さくらおろち湖周辺を 100%楽しむサイト」の運用	斐伊川・神戸川ダム対策協議会、NPO 法人さくらおろち	
				継続	・「ホームページ・尾原ダム便り・広報誌等」での情報発信、企業 CSR やトレランなどの模様を「CATV 放映」、「Facebook や Twitter」を用いた情報発信	NPO 法人さくらおろち、温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、奥出雲町情報通信協会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	
				継続	・「ポスター」の作成	さくらおろちを活性化する会	
				継続	・イベント案内表示板の活用	尾原ダム周辺施設活用協議会	
		(5)-2 フィルム・コミッションの推進	①水源地域の景観や地域資源、尾原ダムや周辺施設の魅力の積極的な発信（写真・映像の配信など）	継続	・各種マスメディアに対するイベント情報の発信	NPO 法人さくらおろち、温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、奥出雲町情報通信協会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	
					【後期から実施するプロジェクト】		



≪H28≫企業 CSR 活動
(NPO 法人さくらおろち、雲南市尾原ダム周辺施設活用協議会、国土交通省、島根県、雲南市、奥出雲町)



≪H28≫遠足ウィークの実施
(NPO 法人さくらおろち、雲南市)



≪H28≫上下流域交流（白湯天満宮出店）
(NPO 法人さくらおろち)



≪H28≫志津見ダムボビー祭りでの情報発信
(NPO 法人さくらおろち)



≪H28≫「水の縁による新たな出雲の国づくり」の運用
(斐伊川・神戸川ダム対策協議会)

■流域圏の恵みの源を守り、育む

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29年度の予定	H29年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅵ 環境の保全	(6)森林の保全・維持管理活動	(6)-1 森林の整備・管理	①上流部の森林での広葉樹の植林 ②森林の計画的な間伐などの維持管理 ③雲南市の「うんなん森林バイオマス活用システム」や奥出雲町の「バイオマスタウン構想」と連携し、竹林や林地の残材のチップ化の推進 ④さくらおろち湖内の竹林等の適正な管理 ⑤さくらおろち湖に流入する流木の回収	継続	・竹林の整備、竹の活用策について、これまで情報を整理し、活用策を検討（ダムが見える牧場周辺の竹林伐採）	NPO 法人さくらおろち、奥出雲布勢の郷	・竹の有効活用策の検討 ・筍の加工 ・筍堀ツアーの試行
				継続	・ダム湖内の竹林等の管理を引き続き実施	国土交通省	
				継続	・みーもスクールの開催 ・TSK の県広報番組やジョウーホー奥出雲で放映	NPO 法人さくらおろち	・予算の確保
				継続	・竹林整備事業の実施	NPO 法人さくらおろち・奥出雲布勢の郷	
		(6)-2 ボランティア活動の実施	①下流域の住民や小学生の森林ボランティアによる森林の草刈や間伐、里山の手入れなど、森林保全の仕組みの検討 ②学生によるボランティア活動の実施環境の整備（島根大学のピビットカード制度※に基づく認定など）	継続	・企業 CSR などボランティアによる除草作業、ごみ拾いのほか、竹林の保全管理など様々な団体等との連携	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO 法人さくらおろち	
	(7)河川の水質の保全	(7)-1 水質の保全	①家庭から出る廃食油の回収・リサイクルの推進 ②さくらおろち湖周辺にピオトープの整備の可能性の検討	未定	・実施内容の検討	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省、NPO 法人さくらおろち	
	(8)生物の生息環境の保全	(8)-1 生息環境の保全（動物・植物）	①ホテルの生息環境を保全するための三沢川の清掃活動 ②生活環境保全のシンボルとして「ホテル祭り」の開催 ③さくらおろち湖周辺のホテルの観察ポイントの発信 ④河川環境の保全のシンボルである、河岸のキシツツジなどの保全活動の実施 ⑤人と動物が共存するための安全対策の検討 ⑥オオサンショウウオを保全するために、生息環境の保全活動の推進	継続	・草刈などの周辺整備	原田自治会	
				継続	・「ホテル祭り」の開催	原田自治会	
				継続	・キシツツジの保存、育成	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」	・活動資金のねん出 ・高齢化に伴う要因確保
				継続	・堤防の管理にあわせた「除草作業」の実施	国土交通省	・年1回の実施
		(8)-2 外来種、害獣、害鳥対策	①ブラックバスを始めとした外来魚の放流が法律により禁止されていることの周知 ②外来種を捕獲するための仕組みづくりの検討 ③森林や漁業資源に被害をもたらす害獣や害鳥の対策の実施	継続	・「湖面利用の手引き」の中で外来種の放流禁止を周知	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	
	(9)環境学習会等の開催	(9)-1 環境学習会の開催（森林、水質・水生生物、ホテル）	①さくらおろち湖や周辺の河川、森林などをフィールドとした地域への関心を促すための「環境学習会」の開催 ②ホテルの観察会や学習会を開催し、自然環境への意識啓発 ③水源地域の森林保全への意識を啓発するために、間伐や材木を活用したものづくりの体験プログラムの企画・実施 ④合宿形式の自然体験ツアーの企画・実施 ⑤水源地域の耕作地等を活用した農業体験ツアーの実施 ⑥既存の「柿採りと干し柿づくり」ツアーの推進	継続	・「ホテル観賞会」の開催	原田自治会	
				継続	・「体験イベント」の実施	とんぼの会	
				継続	・「柿園」の維持管理	とんぼの会	
				継続	・名月鑑賞会の開催	とんぼの会	



≪H28≫みーもスクールの開催
（NPO 法人さくらおろち）



≪H28≫竹林整備事業の実施
（NPO 法人さくらおろち、奥出雲布勢の郷）



≪H28≫キシツツジの保存、育成
（温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」）



≪H28≫「ホテル観賞会」の開催
（原田自治会）

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29年度の予定	H29年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅶ 景観保全・整備	(10) ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	(10)-1 ビューポイントの発掘・活用	①さくらおろち湖周辺の良好な景観を発信し、魅力を向上させるために、さくらおろち湖周辺のビューポイント・写真撮影スポットの発掘、活用 ②ビューポイントの案内板設置 ③季節に応じて見ごろを迎える紅葉やサクラ、新緑などを活かした写真撮影会の開催や、湖畔や橋に鯉のぼり（おろちのぼり）を掲げるなど、さくらおろち湖の魅力を発信	継続	・入選作品の写真の活用の検討	さくらおろちを活性化する会	
				継続	・看板の設置、予算を含めて検討	さくらおろちを活性化する会	
				継続	・「さくらおろち湖写真コンテスト」の開催、審査、表彰	さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会	
				継続	・岩内地山展望台周辺への植樹	NPO 法人さくらおろち	
		(10)-2 ダム湖周辺や水辺の景観の保全・整備	①さくらおろち湖周辺の景観を向上させるために、周辺の森林や斜面に繁茂するクズやカズラ等の駆除 ②クズやカズラ等の対策にあたっては、単純にクズやカズラ等を伐採するだけでなく、クズ等の有効活用策（根のレシピづくり、編みかごづくりなど）を検討し、地域住民と楽しみながら対策できるような仕組みの構築 ③根本的な対策を検討していくために、クズ除去等の対策部会の設置や専門家への聞き取り調査などの実施 ④平成 22 年度に策定された「さくらおろち湖周辺植栽計画」に基づき、サクラやモミジ等の計画的な植樹活動の推進 ⑤ダム本体周辺にツツジなどの植栽を実施し、ダム本体の魅力の向上 ⑥植樹の推進にあたり、様々な助成事業の活用・さくらおろち湖周辺植栽計画を踏まえ、例えば「尾原ダム千本桜」などの目標を掲げた整備の推進	継続	・自転車競技コース、湖面・河川管理の草刈りに併せ、「クズの除草作業」を実施	島根県、国土交通省雲南市、奥出雲町、	
				継続	・ダム周辺の除草作業の実施	NPO 法人ふる里雲南、木次乳業有限会社、ダムの見える牧場、いずも八山椒有限会社、雲南花舞台を実現する会、温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、斐伊地域づくり協議会、雲南市、奥出雲町	
				継続	・「景観作物(そば、菜の花など)」の栽培	NPO 法人ふる里雲南、木次乳業有限会社、ダムの見える牧場、いずも八山椒有限会社、雲南花舞台を実現する会、温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」、斐伊地域づくり協議会、雲南市、奥出雲町	
				継続	・記念植樹、新植や下刈りの実施、平田地区河岸の桜の管理・草刈	雲南市、奥出雲町、平田を育てる会、石自治会	
				継続	・自転車競技施設周辺の除草作業		
				継続	・岩内地山展望台周辺の除草作業		
	(11) 農村や周辺の景観の保全・改善	(11)-1 農地保全の仕組みづくり	①水源地域の農村景観を保全していくために、協力して農地を耕作していく仕組みの構築 ②仕組みの構築にあたり、流域内の大学生等が農地保全や草刈りのボランティアとして積極的に連携できるような呼びかけの実施	継続	・ダムサイト左岸広場の整備検討	国土交通省	
				継続	・景観保全活動（除草作業）の開催	さくらおろち湖をきれいにする会	
				継続	・ささべ桜の植樹	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	
				継続	・ダムが見える牧場周辺へのさくらの植樹	NPO 法人さくらおろち	・計画に沿った植樹の継続
	(11)-2 農村景観の向上		①農村景観を改善していくための景観作物等の栽培	継続	・実施内容、実施範囲等の検討	さくらおろちを活性化する会	
				継続	・実施内容、実施範囲等の検討	雲南市、NPO 法人さくらおろち、株式会社雲南 TRC、ダムの見える牧場	・山羊や羊等の放牧を検討



≪H28≫「さくらおろち湖写真コンテスト」の開催
（さくらおろち湖写真コンテスト実行委員会）



≪H28≫100年先も誇れる森づくり記念植樹
（雲南市・奥出雲町）



≪H28≫自転車競技施設周辺の整備
（NPO 法人さくらおろち）



≪H28≫牛の放牧
（雲南市、NPO 法人さくらおろち、ダムの見える牧場）

■さくらおろちの魅力を磨き、活かす

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29年度の予定	H29年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅷ 自然環境の活用	(12)森林の保全・活用	(12)-1 森林の利用促進	①水源地域の森林環境を、心身の健康維持・増進、疾病の予防を目指す「森林セラピー」の推進 ②自然環境の中での幼児教育や幼児を対象とした自然体験活動などの実施	継続	・岩伏山登山道、岩内地山遊歩道などの保全やトレッキング、散策などの活用	さくらおろちを活性化する会、雲南市、奥出雲町	
Ⅸ ダム周辺の既存施設の活用	(13)ダム本体の活用	(13)-1 尾原ダムの魅力発掘（ライトアップ、クレスト放流等）	①尾原ダムの魅力を発掘し、積極的な発信	継続	・各種イベントの情報を職員掲示板に掲載	島根県	
			②尾原ダムの魅力を向上させるために、ライトアップやイルミネーション、クレスト放流、インフラツーリズム等の実施などの検討	継続	・斐伊川・神戸川流域の上下流交流サイト（水の縁による新たな出雲の国づくり）による情報発信	斐伊川・神戸川ダム対策協議会	
			③各種イベントに合わせて実施しているダム施設の見学ツアーを積極的に開催	継続	・「クレスト放流」の実施	国土交通省	
			④写生大会など、ダム本体の学習教材としての活用やビューポイントとの連携、ダムカードの活用、情報端末の活用など、尾原ダムが有する資源・特徴の発掘・発信	継続	・ダム堤体内の一般開放	国土交通省	
			⑤ダムを活用について様々な可能性の追求（ダムのビューポイント探し、フォトコンテスト、ダム本体に絵を描く企画、無料オートシアター、ロッククライミングなど）	継続	・「インフラツーリズム」の実施	国土交通省	
				継続	・「さくらおろち湖湖上花火」の開催	さくらおろち湖まつり実行委員会	
	(13)ダム本体の活用	(13)-2 日本ープロジェクトの企画・実施	①尾原ダムの魅力を広く認知してもらうために、尾原ダム本体や堤頂道路などを活用した「日本ー」プロジェクトの企画	継続	・ランバイク教室の実施	株式会社 キラキラ雲南	
			②企画した「日本ー」プロジェクトの積極的な実施（ランバイク常設コースを使った教室や大会開催ほか）				
	(14)サイクリング施設の活用	(14)-1 サイクリングコースの活用	①サイクリングコースの魅力を発信するために、「観光庁ランナーズインフォメーション研究所」による国内初の認定コースとして選出されたことの発信	継続	・自転車競技コース、植栽等の管理、大会開催に合わせた競技コースのPR	島根県	
			②平坦なコースが続く 4.5km のコースは一般の方にも楽しんでもらえるコースであることの発信	継続	・「奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会青年部	
			③サイクリングコースの多様な活用に向け、マラソンや駅伝など他の利用方法の検討	継続	・ランバイク教室の実施	株式会社 キラキラ雲南	
			④既に実施されているサイクリング大会や紅葉サイクリングの継続・発展	継続	・島根県高等学校自転車選手権大会の開催	島根県自転車競技連盟	
			⑤MTB や BMX 大会の実施など、サイクリングを通じた上中下流交流や地域活性化の推進	継続	・さくらおろち湖サイクルロードレース大会の開催	島根県自転車競技連盟	
			⑥サイクリングコースを活用し、子供向けサイクリング教室やウォーキング大会等の企画・実施		・トライアスロン大会の開催	トライアスロン大会実行委員会	
		(14)-2 レンタサイクルの実施	①一般の方にサイクリングコースを楽しんでもらうために、「佐白温泉 長者の湯」等を拠点としたレンタサイクルの実施	継続	・レンタサイクルの実施（利用者の拡大）	奥出雲町、奥出雲サイクリングターミナル、佐白温泉「長者の湯」	・道の駅で利用できるようにする
		(14)-3 サイクリングコースの改善	①サイクリングコースの魅力を向上させるために、サイクリングコースへ藤棚を設置するなど、利用者が夏場の日差しを避けることができるような対策の推進	継続	【後期に実施するプロジェクト】		



≪H27≫「クレスト放流」の実施
（国土交通省）



≪H28≫ダム堤体内の一般開放
（国土交通省）



≪H28≫ランバイク教室の実施
（株式会社キラキラ雲南）



≪H28≫2016 さくらおろち湖サイクル
ロードレース大会の開催（島根県自転車競技連盟）



≪H28≫第1回トライアスロン大会の開催
（トライアスロン大会実行委員会）

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29 年度の予定	H29 年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅸ ダム周辺の既存施設の活用	(15) さくらおろち湖の活用	(15)-1 湖面の利用促進	①さくらおろち湖の魅力を向上させるために、さくらおろち湖の利用の促進（水陸両用バスによる湖上観光、シーカヤックやカヌー、ヨット等を利用したイベントの開催、湖面いかだレースの開催、屋形船の導入など） ②サイクリングコースと連携して、トライアスロン大会の実施に向けた協議の実施 ③さくらおろち湖に完成した認定コースを活用したレガッタ大会やボート競技大会の誘致 ④現在斐伊川で開催されている子供向けボート教室のさくらおろち湖での実施 ⑤流域住民を対象とした体験教室などを開催し、ボートを通じた水源地域の認知度向上	継続	・「ボート競技施設」の運営・維持管理を実施	島根県	
				継続	・「シーカヤック体験会」、「レガッタ体験会」の開催	しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらボート協会、株式会社キラキラ雲南	
				継続	・「レガッタ体験会」の開催	斐伊川さくらボート協会	
				継続	・「おろちっこ☆尾原ダムアドベンチャーワールド」の開催	株式会社 キラキラ雲南	
				継続	・「さくらおろち湖お花見レガッタ」の開催	斐伊川さくらボート協会	
				未定	・島根県高等学校総体ボート競技の開催	島根県高等学校体育連盟	
				継続	・温泉地区ウオーキングのつどい	地域自治組織ダム湖の郷	
		(15)-2 釣り利用の促進	①さくらおろち湖の新たな利用者を増やすために、さくらおろち湖での釣り大会の実施可能性の検討 ②関連団体等との調整を実施した上で、釣りスポットの整備等、ダム湖と川に親しめる取組を実施し、さくらおろち湖の魅力の向上 ③道の駅「おろちの里」での鑑札の販売など、簡易に釣り利用ができる仕組みの検討	継続	・生態調査としてのワカサギ釣り	ワカサギ育成協議会、斐伊川漁業協同組合	
		(15)-3 利用ルールの策定・周知（湖面利用の手引き等）	①水源地域と他地域との交流促進による水源地域の活性化、公共施設の適正な管理を行うために、「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」の適正な運用 ②周辺の施設を利用する際の手続きの簡素化や、窓口の一元化の可能性の模索	継続	・「さくらおろち湖周辺及び湖面利用に関する手引き」のフォローアップ	さくらおろち湖周辺施設管理者調整会議	
	(16) 既存施設等の活用	(16)-1 自転車競技施設(多目的広場)の利用促進（音楽イベント等）	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された自転車競技施設（多目的広場）の利活用の検討 ②水源地域の賑わい創出に向けた音楽イベント等の実施	継続	・土日、祝日におけるトイレ施設の開放（冬季を除く）	島根県	
				継続	・「奥出雲サイクリング」の開催	奥出雲町商工会青年部	
				継続	・高校自転車部による定例合宿での利用	奥出雲多根自然博物館	
				継続	・「さくらおろち湖ロゲイニング大会」の開催	ロゲイニング大会実行委員会	
		(16)-2 農村体験施設の利用促進	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき農村体験施設を有効活用するために、併設の宿泊施設での体験学習会や、小中学生を対象とした合宿研修の利用などのPR ②広大な農地を活用した特産品の栽培の推進 ③「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された下布施ホースセラピー施設を活用した心の癒し企画の検討 ④農村体験施設や周辺の農地と連携した体験プログラムの企画などの検討 ⑤宍道湖の葦を活用した「葦壁づくりワークショップ」の開催	未定	・「日帰りモニターツアー」、「1泊モニターツアー」の実施	さくらおろち田舎ツーリズム協議会	
				継続	・さくらおろち牧場の運営	株式会社雲南 TRC	
				継続	・農地と連携した「体験プログラム」の企画（藍の生葉染め体験の実施）	株式会社雲南 TRC、農事組合法人槻之屋ヒーリング、有限会社田井産業	
				継続	・夏休みヨシ工作 ワークショップの開催	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・さくらおろち牧場ぐらしのキャンプの実施	株式会社雲南 TRC	
				継続	・ヨシ刈りプロジェクト（斐伊川河口）の開催	NPO 法人さくらおろち	



≪H28≫「シーカヤック体験会」の開催
（しまねシーカヤックスクール、斐伊川さくらボート協会、株式会社キラキラ雲南）



≪H28≫「第5回さくらおろち湖お花見レガッタ」の開催
（斐伊川さくらボート協会）



≪H28≫「2016 奥出雲サイクリング」の開催
（奥出雲町商工会青年部）



≪H28≫「さくらおろち湖ロゲイニング大会」の開催
（ロゲイニング実行委員会）



≪H28≫ヨシ刈りプロジェクトの実施
（NPO 法人さくらおろち）

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29 年度の予定	H29 年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
Ⅸ ダム周辺の既存施設の活用	(16)既存施設等の活用	(16)-3 街道・登山道の活用	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された岩伏山の登山道を有効活用するために、小中学生（スポーツ少年団）による登山などの企画 ②トレイルランニングのコースとして整備された殿様街道の保全活動やイベント企画などの実施 ③上中下流交流を実施するために、さくらおろち湖から、出雲神話の舞台であり、松江藩主が通った殿様街道を駆け巡るトレイルランニング大会の実施	継続	・トレイルランニング大会の開催時における殿様街道、要害山登山道の活用	とんぼの会、三沢城跡保存会、トレイルランニング実行委員会	・倒木の処理
				継続	・トレイルランニング大会の開催	さくらおろち湖トレイルランニング実行委員会、雲南市、奥出雲町	
				継続	・牛の放牧を活用した「ふれあい体験」や「牧場見学会」の実施	ダムの見える牧場、木次乳業有限会社	・山羊等の放牧を検討
				継続	・地元産の山菜・野菜・加工品の販売（タケノコ・フキ・ミョウゴ・こんにゃく）	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」	・加工品のメニューの増 ・加工体制の強化
				継続	・青空野菜市の開催	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」	
				未定	・さくらおろち湖遠足コースの整備	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・温泉地区ふるさと祭りの開催	温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」	
		(16)-4 その他施設の有効活用	①雲南市尾原地域づくり支援センターを活用したポート合宿の誘致 ②ダムの見える牧場を活用したイベントの企画・実施 ③道の駅おろちの里の積極的な活用	継続	・大学・高校ポート部の合宿・強化練習の誘致	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・雲南市尾原地域づくり支援センターを活用した「ポート競技施設利用者による合宿」の誘致	尾原自治会	
				未定	・大学・高校等自転車部の合宿誘致	NPO 法人さくらおろち	
(16)-5 新たな活用策の検討	①「地域に開かれたダム整備計画」に基づき整備された様々な施設の魅力を向上させるために、継続的な施設の活用策の検討	継続	・「トライアスロン大会」の開催	トライアスロン実行委員会、島根県トライアスロン協会			
		継続	・「さくらおろち湖湖上花火」の開催	おろち湖祭り実行委員会			
Ⅹ 歴史・文化の継承	(17)神話の継承・活用	(17)-1 出雲神話の活用・PR	①水源地域に伝わる出雲神話を掘り起こし、それらの伝承地（岩伏山頂上、長者屋敷跡、天が淵など）を巡る着地型観光ツアーの企画 ②出雲神話と地域の風土、産業との関連など、水源地域全体の過去、現在、未来を把握できる内容になるような企画の検討（ロゲイニング大会の開催など） ③地域内で実践されている出雲神話に関する活動の支援 ④活動団体のメンバーを講師に招き、地域住民を対象とした学習会の開催やマップや読み物の作成などにより、地域に伝わる貴重な歴史や文化の継承	継続	・「うんなんやマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村	
				継続	・三沢城跡祭り	三沢城保存会	
				継続	・神楽の保存（槻之屋神楽、深野神楽、奥出雲神代神楽）		
				継続	・奥出雲の食を楽しむ集いの開催（産直市の開設）	奥出雲多根自然博物館、NPO 法人奥出雲布勢の郷	
				未定	・ダムカレーの開発（作成検討中）		
	(18)郷土料理の継承・活用	(18)-1 郷土料理の継承・活用	①地域に伝承されている「食」（焼豆腐、笹巻き、イノシシ料理など）の掘り起こし ②発掘した郷土料理を地域住民に伝承するための講座の開催 ③宿泊と料理を結びつけた取組の推進 ④現在実施している郷土料理を楽しむモニターツアーを継続・拡大させ、郷土料理を通した水源地域の魅力の発信 ⑤オーガニック料理教室の実施	未定	・イノシシ肉加工品の開発		
				継続	・「神話の里 さくらおろちの食べごと塾」の開催	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町	・実施内容の検討
				継続	・「名月鑑賞会」の開催	とんぼの会	
				継続	・「名月鑑賞会」の開催	とんぼの会	
	(19)地域文化の継承・活用	(19)-1 古民家の活用	①水源地域の地域文化を継承・活用するため、まずは、整備された「要害山交流拠点施設 みざわの館」を観光拠点の一つとして積極的な活用	継続	・「名月鑑賞会」の開催	とんぼの会	



≪H29≫第5回トレイルランニング大会の開催
 （さくらおろち湖トレイルランニング実行委員会、雲南市、奥出雲町）



≪H28≫青空野菜市の開催
 （温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」）



≪H28≫温泉地区ふるさと祭りの開催の開催
 （温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」）



≪H28≫神楽の保存



≪H28≫ダムカレーの開発
 （奥出雲町ほか）

大分類	プロジェクトの分類	プロジェクト	実施内容	H29 年度の予定	H29 年度の実施内容	実施主体	継続にあたっての問題点・課題
XI 新たな魅力・資源の発掘	(20)地域の魅力・資源の発掘・活用	(20)-1 温泉の活用（スタンプラリー）	①水源地域周辺に立地する温泉施設間の連携を促進するために、温泉スタンプラリーの企画・実施 ②水源地域交流拠点として利用している「佐白温泉 長者の湯」で、水源地域農産物の産直販売や、食の提供、世代間交流の実施	継続	・「うんなんピンゴスタンプラリー」の実施 ・世代間交流イベントの開催	雲南広域連合 NPO 法人奥出雲布勢の郷	
		(20)-2 観光資源の再整理	①水源地域として、観光拠点として発信する施設の選定 ②斐伊川の歴史とヤマタノオロチの伝承等、自然とその背景を地域の資源を再整理した上で、地域全体として魅力の発信	継続	・「うんなんヤマタノオロチ伝承地巡り」の開催	株式会社吉田ふるさと村	
		(20)-3 地域体感ツアーの開催	①水源地域の新しい魅力を広く発信するために、地域を体感するツアーの企画・開催 ②ツアーエージェントを対象に、水源地域の魅力を活用したツアーの制作の依頼 ③地域体感ツアーの開催にあたっては、温泉や宿泊施設などとの連携の模索	継続	・「地域体感ツアー」の企画・開催	NPO 法人さくらおろち	
				継続	・奥出雲多根自然博物館の宿泊者に対し「温泉利用」とナイトミュージアム体験	奥出雲多根自然博物館、佐白温泉長者の湯	
				継続	・イベントの参加奨励として入浴券の配布	佐白温泉長者の湯、NPO 法人奥出雲布勢の郷、各イベント主催者	
	(21) 漁業資源の育成と活用	(21)-1 漁業資源の創出(ワカサギの放流)	①新しい地域資源として、さくらおろち湖へのワカサギ放流の継続 ②放流したワカサギを、漁業資源としてだけではなく、冬季の観光資源としての活用の模索	継続	・ワカサギ育成協議会の開催	NPO 法人さくらおろち、雲南市、奥出雲町、島根県、国土交通省	
				継続	・ワカサギ釣りの実施	ワカサギ育成協議会、斐伊川漁業協同組合	
				継続	・さくらおろち湖へワカサギの卵の放流	ワカサギ育成協議会、斐伊川漁業協同組合	
				未定	・ワカサギ生息・定着に関する研究・調査	ワカサギ育成協議会	
				未定	・ワカサギ料理の開発	NPO 法人さくらおろち	
	(22)特産品の開発・販売	(22)-1 特産品の開発・販売促進	①水源地域の豊富な湧水や豊かな森林から生産される木材資源、新鮮で高品質な農作物、さくらおろち湖を特色づける特産品、出雲神話に関連する商品など、水源地域ならではの素材を用いた個性ある商品の開発 ②開発した特産品を「水源地域ブランド」として認定し、全国へ発信・販売することにより水源地域の認知度の向上 ③開発した特産品の販売促進を図るため、出雲神話に由来するネーミングの検討	継続	・特産品（食用ほおすき、ヤーコンなど）の栽培・道の駅での販売	NPO 法人ふる里雲南	・ブランド認証基準の作成
				継続	・新品種サラダ野菜の栽培・販売	NPO 法人ふる里雲南	・ブランド認証基準の作成
				継続	・新品種の野菜の栽培・販売	NPO 法人ふる里雲南	・ブランド認証基準の作成
XII 交流イベントの活発化	(23) 交流イベントの活発化	(23)-1 さくらおろち湖祭りの開催	①「さくらおろち湖祭り」を継続・発展させることで、水源地域への観光客を呼び込み、水源地域の活性化 ②「さくらおろち湖祭り」については、NPO 法人などの関係諸団体と連携し、ダム湖面の活用の検討	継続	・「さくらおろち湖祭り」の開催・充実	尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会	・周辺イベントとの調整
		(23)-2 そば打ち交流会の開催	①水源地域の特産品を通した上中下流交流を実施するために、下流域の住民との「そば打ち交流会」の継続した開催	継続	・松江市民・出雲市民とのそば打ち交流会の開催	NPO 法人さくらおろち	
		(23)-3 イベントの企画・立案	①水源地域の魅力を向上させるために、尾原ダム（さくらおろち湖）を念頭においたイベントの企画・立案 ②周辺に人家が少ないダム湖周辺の立地特性を活かしたイベントの検討 ③堤頂道路の直線を活かしたイベントの企画・実施 ④さくらおろち湖とサイクリングコースを活かしたトライアスロン大会の実施 ⑤新たなイベントの企画	継続	・「ロゲイニング大会」の開催	ロゲイニング大会実行委員会	
				継続	・ダム堤体内の一般開放	国土交通省	
				継続	・「トライアスロン大会」の開催	トライアスロン大会実行委員会、島根県トライアスロン協会	
				未定	・さくらおろち湖ウォーク大会の開催	さくらおろち湖ウォーク大会実行委員会	
				継続	・湯村地区ジョギング駅伝大会（ウォーキングの部あり）	湯村地区ジョギング駅伝大会実行委員会	
				継続	・温泉地区ウォーキングの集い	地域自治組織ダム湖の郷	



≪H28≫さくらおろち湖へワカサギの卵の放流
 （斐伊川漁業協同組合、ワカサギ育成協議会）



≪H28≫「特産品」の栽培・販売
 （NPO 法人奥出雲布勢の郷）



≪H28≫「第12回さくらおろち湖祭り」の開催
 （尾原ダム・さくらおろち湖祭り実行委員会）



≪H28≫第4回 さくらおろち湖ウォーク大会の開催
 （さくらおろち湖ウォーク大会実行委員会）



≪H28≫「うんなんピンゴスタンプラリー」の実施
 （雲南広域連合）